

令和6年度官民協働事業レビューにおける意見・評価

事業番号: 8月25日(日)②

担当部局・担当課名: 生活環境文化部県民生活課

事業名	エシカル消費PR事業	評価結果	行政の関与不要
-----	------------	------	---------

事業レビューにおいて発言のあった主な意見

【委員の意見】 ・県の事業がエシカル消費の認知度向上にどれだけ寄与しているのかわからない。事業の有効性について、アンケートなどで調査するべき。PRではなく、体験活動を増やしていくとよい。 ・バスの広告でPRしても、行動変容にはつながらない。学生を巻き込んで学習するとか、スーパーでこれがエシカルな商品だと紹介してもらうなど、実際の行動につながるような取組みにしなければいけない。 ・エシカル消費という言葉を知らなくても、環境に及ぼす影響を考慮して物を買う人は十分増えている。これ以上この事業で何を狙うのか。 ・消費者教育の1テーマに集約して、他の事業と統合すべき。ただし、エシカル消費の認知度の把握は引き続き行うべき。 【県民評価者の意見】 ・自分が今まで何気なく行ってきた行動に「エシカル消費」という言葉がつくことで、仲間意識や参加している実感が出て面白いと思った。 ・家計を預かっている人とそうでない人で、エコ消費への考え方は違うと思う。

県民評価者の評価シートによる評価				県民評価者総数	18
評価区分 (考え方)	行政の関与 不要 (事業の廃止)	役割分担 見直し (隣県と共同または市 町村で実施)	抜本的改善 (例: PR以外の内容に 切り替え)	一部改善 (例: PRの方法を変え る、コストの削減)	現行どおり ・拡充
	6	2	4	3	3 (現行2、拡充1)
県民評価者の 主なコメント	評価結果と 同じ評価	【行政の関与不要】 ・社会が既に環境配慮の方向へ向かっているのに、県が力を入れる理由がわからない。 ・県民の50%がエシカル消費という言葉を理解しているので、これ以上やらなくていいと思う。 ・PR広告は意味がない。見るだけでは行動につながらない。ただし、学生向けの取組みは良いと思う。ただのPRだけではなく、当事者として考えてもらう機会を作るべき。			
	上記以外	【抜本的改善】 ・富山県からの発信で「エシカル」という言葉の認知度が上がっているとは思えない。学校教育に取り入れるほうが有効ではないか。 ・エシカルな消費事例を具体的に示すことが重要。 ・事業の必要性は認められるが、事業内容が達成に向けた手段として有効でない。 【一部改善】 ・エシカル消費という言葉は初めて聞いた。今後もっと多くの人に知ってもらい、理解を深めてもらうためにPRは必要だと感じた。 ・広告費を使いすぎ。学校や地域での活動で良い。 【現行どおり・拡充】 ・障害者支援につながるようなPRをしてほしい。 ・見直しは必要だが、おおむね良い事業なので続けてほしい。 【役割分担見直し】 ・国が実施するべきで、県がやらなくてもよい。環境に及ぼす影響を考慮して商品を購入する人は思ったより多い。エシカル消費という言葉の理解度は低くても、消費者の行動がエシカルであれば、それで良いのではないか。			

【参考】委員による評価				委員総数	4
評価区分	行政の関与 不要	役割分担 見直し	抜本的改善	一部改善	現行どおり ・拡充
	1	1	2	0	0

事業名	エシカル消費PR事業	評価結果	行政の関与不要
-----	------------	------	---------

【県の対応】

今後の 対応方針	廃止	事業廃止			
	○本事業は廃止 ○別途、SDGsの理念を踏まえた若者向けの消費者教育を実施予定				
令和7年度 当初予算 での対応	R7当初予算 （要求額）	—	R6当初予算	5,300(千円)	増減額 ▲5,300(千円)
	増減理由				

当初予算編成プロセスの見える化

令和7年度 当初予算	要求 状況	要求額	前年度予算額	
		事業の目的		
		事業内容		
		積算内訳		
	予算編成過程における議論			
	最終的 な予算 案	予算額		
		要求時点からの変更点		